

『花を訪ねて： ロウバイ』

松田寄ロウバイ園散策（平成 31 年 2 月 2 日（土））

春先に咲くロウバイの花を見たいと思い、宝登山は有名だが他にどこか咲いている地はないかと探してみたが、伊藤さんに訊いたら松田町寄にあると教えていただいたので、計画を立てて行くことにした。1月15日に松田町役場観光課に電話して開花状況を聞いたら、「現在2~3分咲きなので、今月末位の方がよいだろう」とのアドバイスであった。16日の例会で提案したところ、2月2日（土）に行くことで皆さんに声をかけることに決まった。その結果、伊藤、荻野、早坂、松山の皆さんが参加されることになり、計5名となった。

ロウバイは花持ちがよく、「寄ロウバイ園」は1月12日~2月11日まで「ロウバイ祭」をやっているという。従って2月初めでも十分に楽しめるだろう。ここのロウバイ園は平成18年に寄中学校卒業生が250本植樹し、その後順次増やしてゆき現在では約2万本に増え日本最大級という。

新松田駅から松田町寄へ行くバスは比較的少なく、9時40分発くらいが丁度よさそうなので、7時58分下北沢発の急行に乗っていただいて、9時30分新松田駅集合とした。一電車早く新松田駅に着くと荻野さんに会い、まもなく早坂さんと合流した。バス乗り場は既に長蛇の列、9時過ぎにはもう臨時バスが出て行った。今日は臨時がどんでんらしい。“往復乗車券”を窓口で買って、まずはお二人に座れる時に先行してもらった。次いで伊藤さん、松山さんが到着して9時30分発のバスで寄へ向かった。

今日は「こいつあー春（正月初め）から縁起（天気）がいいー！」と大見得を切りたいような（伊藤さん）、雲一つない快晴で風もない上天気だ。30分で谷合いの「寄」部落に到着。2005年に「鍋割山」へ来たときには、河野さんから「寄」は「ヤドロギ」と呼ぶと教えてもらったが、地元の人に聞くと今は「ヤドリキ」に統一しているようだ。お二人は「寄」バス停で待っていてくれたので、早速全員で出発する。

数分坂道を登って10時15分に「寄ロウバイ園」に到着した。園は急な斜面に広がっている。入口で入園料¥300円を払う。茶店では地元の人達が作った漬け物、櫻鱒の燻製などが売られている。今日は土曜日でバスが増発した割には、来ている人はそれほど多くはない。

斜面を見上げると60~70m上に展望台地が見えたので、まずそこに登ってみることにした。ロウバイの林の間をゆっくりと登る。ロウバイは数本がまとまった株を構成していて、本数で約2万本、株数では約3千株位らしい。開花状況は7~8分咲きの木や既に満開を過ぎて色褪せている木もあるが、なにより嬉しいのは良い芳香である。辺り一面に甘い香りが漂っている気がする。

展望台地からは谷合いに広がる寄部落、対面の山並み、手前のロウバイの木々、茶畑などが見渡せた。寄部落の反対側の30m程下に、農家の庭で茶店を開いているのが見えたので、行ってみることにした。甘酒¥100とお汁粉¥200だ。皆さん甘酒に舌鼓をうった。庭には「土佐原のしだれ櫻」という

樹齢 200 年の巨木がある。開花時期は 3 月末とかで素晴らしい眺めだろう。

展望台に戻りここからロウバイの林の中をじぐざぐに下って行く。とにかく良い香りだ。ずっと下って行くと、道を間違えたか途中で道が無くなってしまった。伊藤さんは流石に 2m くらいの崖を降りたが、我々は諦めて遠回りすることにした。伊藤さんの所にたどりつけない、しかし“丸木の腰掛け”の所で、休憩・昼食にしましょうと話合っていたのでそこへ下ってしまった。携帯で連絡を取ってようやく合流することができた。こんな分かり易い所だからよいが、注意せねばならないと思った。

12 時に園を下り、12 時 45 分発のバスに乗るためにバス停で待つ。待っている間に伊藤さんに、「カタクリ」を見に「三轟山」へ行く話をして、他によい場所が無いかを訊いたら上越六日町：「六万騎山」を教えてくれた。また一緒に並んで待っていた人が橋本近くの「城山」を教えてくれた。帰ったら早速調べてみよう。

帰りも増発が出て、13 時に新松田駅に到着した。バス停前にあった居酒屋「さかなや道場」で反省会。初めは NHK の「嵐」の放送、“茨城の女子大生殺し”や“千葉・野田の小 4 女児殺し”の痛ましい事件などで、悲憤慷慨したが、その内段々本音というか怖—いお話になった。「雨夜の品定め」ならぬ「晴れの日中の御主人（居ない方も含めて）の家庭内での勤務評定」である。普通の奥様が聞かれたら信じられないような律儀な旦那様、食べた茶碗をおいたままのかた、「男子厨房に入るを許さず」という旦那（かくいう私はこの類でしたが） などなど。正に「さかなや道場」で組板にのったのでした。一方、奥様方は、いかにご主人に対し、いない間の食事の心配り（くばり）をしているか。その証拠に荻野さんは帰りに小田原まで足を延ばして、晩のおかずを買って帰るそうです。

14 時 20 分、反省会もなんとか終り、新松田駅で上り／下り方面に分かれて解散した。

以上 陽田

『追記』 翌 3 日（日）の NHK ニュースで「寄ロウバイ園」の紹介をしていた。地面に雪が残っていたから、1 日（金）に収録したのだろう。